

【令和元年度 第1回 男女共同参画懇話会議事要旨】

日 時 令和元年5月22日（水）10：00～11：30
場 所 市役所 東館1階 会議室6
出席者 委 員…青木、緒方、斎藤(純)、佐藤、望月、若林
事務局…水野課長、加藤係長、山本
傍聴者 0名

1. あいさつ

副市長より挨拶

2. 委嘱状交付

- ・代表として出席委員の中で50音順最上位の「青木廣康」委員に副市長より交付
- ・その他の委員については、席に配布にて省略
- ・交付後、懇話会委員、事務局の自己紹介

3. 議題

(1) 会長及び副会長の選出

- ・会長は豊明市男女共同参画懇話会運営規則第5条第2項の規定より委員の互選。望月委員より斎藤委員が推薦され、他委員より異議なく斎藤委員を会長とする。
- ・副会長は同条第4項の規定により会長が指名、三輪委員を副会長とする。(以後、会長が議事を進める)

(2) 平成30年度男女共同参画事業実績について（事務局から説明）

■講座について

- ・父子料理講座について、講座の名前を「パパや家族と年越しそばを打とう」に変えたらどうか。対象を父親に限定しないにしても、父親が参加しやすいようにしたい。
- ・講座の参加料は100円でいいのでは。託児料も無料でいいのでは。講座を親しみやすいものにして、男女共同参画を浸透させたい。

■LGBT 関連事業について

- ・LGBT研修について、今年度は高校の生徒向けに研修をすることのだが、今の高校生にとってLGBTは私たちの世代が思う以上に身近な存在。DV講座の方が必要なのでは。→DV講座については今年度も引き続き実施していく。
- ・LGBTともに生きる宣言をしたが、制度の具体化には至っていない。制度の実行に向けて、市議会議員向けになにか働きかけをしたい。→市議会議員にはLGBT研修会を受けてもらっている。新しい議員にも、今年度研修を受けてもらう予定。
- ・LGBT研修を受けた議員の反応はどうか→「居て当たり前の存在」などの感想をいただいている。

(3) 第3次とよあけ男女共同参画プランの進捗状況について（事務局から説明）

■プランについて

- ・「保育園入園の待機児童数」について、定員枠を増やしたとのことだが、潜在的な待機児童はいる。保育園を無料にする話もあるが、市としてなにか取り組んでいることはあるか。→【保育課に確認し、次回懇話会で説明】
- ・PTA 会長も今は女性が担うことが多い。
- ・県の組長に女性が居ないが、立候補していないだけかもしれない。
- ・「男性の育児（介護）休暇取得者数」について、国から育児休暇の取得目標値が示されているのでは。

■プラン中間年の取組みについて

- ・市民アンケートを取るにしても、策定の時と質問内容は同じものにしたほうがいい。→次回懇話会でアンケートの案を提示する予定。
- ・今回も前田先生と協働で行うのか→アンケートをすると決まれば、前田先生にお知らせする。

(4) 男女共同参画川柳・標語について（事務局から説明）

■選考について

- ・一次選考委員について、青木委員、佐藤委員、緒方委員で決定。
- ・選考スケジュールについては、後日選考委員へ個別連絡。

■応募の現状について

- ・副賞を豪華にしたほうがいい
- ・PR 方法について、市役所1階情報コーナー、豊明市交流センター、豊明市立図書館に応募箱を置いたらどうか

■川柳・標語に代わる啓発方法について

- ・今はどの市町村も男女共同参画川柳・標語の募集をしている。なにか新しい取組みをするのもいい。
- ・15秒動画コンテストはどうか。

(5) 男女共同参画フェスタについて（事務局から説明）

- ・「湯を沸かすほどの熱い愛」か「母さんがどんなに僕を嫌いでも」のどちらかがいい。
- ・映画については三輪委員に決めてもらうのがいいのでは→三輪委員に確認して上映映画を決定。準備を進める。

次回開催日について

9月頃を予定